

公共事業の効果等について

【事業名、地区名、事業概要】

事業名： 地域防災対策総合治山事業

路線名又は箇所名：千束地区^{せんぞく}

事業の概要

工 期：平成22年度～平成24年度（3ヶ年）

事業費：329,354千円

事業内容：治山ダム17個、流路工17.6m、山腹工0.1ha

【公共事業の効果等】

荒廃した溪流の溪岸侵食の防止や、不安定な土石の移動防止。
水源の涵養など、森林の持つ公益的機能の向上。
下流の人家や公共施設等の保全。

【事業実施前の状況等】

平成21年7月24～26日の梅雨前線による集中豪雨(最大時間雨量59mm、24時間連続雨量283mm、総降雨量425mm)により、区域内の複数の溪流において溪岸が侵食され、一部では山腹の崩壊も発生した。

被災後も、降雨時に山腹や溪岸の侵食が進行するとともに、集中豪雨により拡大崩壊や溪流内の不安定な土石が流れ出す恐れがあった。

【事業実施後の状況や県民の声など】

治山ダムや流路工の施工により、不安定な土石の移動防止や溪岸侵食の防止が図られた。また、山腹崩壊地の緑化により、山腹の安定や土砂の流出防止が図られ、保全対象の安全確保に直接的な効果を発現している。

治山ダムや流路工の設置により、溪流の溪岸侵食による濁水が防止され、水質の改善が図られており、環境が良くなっている。

山腹工や治山ダム周辺の植栽により、多様な植物が林床に生育して生物環境が良くなっている。事業により森林の再生が進み、景観への影響は発生していない。

(県民の声)

集落上流の荒廃溪流が治山事業により復旧整備され、安心して生活できるようになった。
林道が安心して通れるようになった。

千束川の濁水が改善された。また、千束溜池への土砂の流入が抑えられて助かっている。